

都市計画道路 伊駒アルプスロード線

環境影響評価書
資 料 編

平成31年1月

長野県

— 資 料 編 目 次 —

第 1 章	共通事項	1. 1-1
1. 1	防災情報	1. 1-1
1. 1. 1	土砂災害警戒区域等の位置及び浸水想定区域の位置の重ね合わせ	1. 1-1
1. 1. 2	地震被害想定	1. 1-3
1. 1. 3	防災効果	1. 1-13
1. 2	大気質、騒音、振動に係る予測条件	1. 2-1
1. 2. 1	計画交通量等	1. 2-1
1. 2. 2	計画構造	1. 2-3
1. 2. 3	工事計画の概要	1. 2-3
第 2 章	大気質	2. 1-1
2. 1	時間変動係数及び車種構成比	2. 1-1
2. 2	等濃度分布図	2. 2-1
2. 3	建設機械の稼働に係るユニットの選定	2. 3-1
2. 3. 1	建設機械の稼働に係るユニット	2. 3-1
2. 3. 2	各工種のユニットの選定	2. 3-3
第 3 章	騒音	3. 1-1
3. 1	騒音分布図	3. 1-1
3. 2	建設機械の稼働に係るユニットの選定	3. 2-1
3. 2. 1	建設機械の稼働に係るユニット	3. 2-1
3. 2. 2	各工種のユニットの設定	3. 2-3
3. 3	環境保全措置の検討	3. 3-1
3. 3. 1	環境保全措置の検討	3. 3-1
3. 3. 2	検討結果の検証	3. 3-1
3. 3. 3	検討結果の整理	3. 3-3
3. 3. 4	基準又は目標との整合性に係る評価	3. 3-5
第 4 章	振動	4. 1-1
4. 1	建設機械の稼働に係るユニットの選定	4. 1-1
4. 1. 1	建設機械の稼働に係るユニット	4. 1-1
4. 1. 2	各工種のユニットの選定	4. 1-3
第 5 章	水象	5. 1-1
5. 1	帯水層の地質・水理の状況	5. 1-1
5. 1. 1	ボーリング調査結果	5. 1-1
5. 2	予測地域及び予測地点の状況	5. 2-1
5. 2. 1	縦断の状況	5. 2-1
5. 3	環境保全措置の検討	5. 3-1
5. 3. 1	通水工法の概要	5. 3-1
第 6 章	動物	6. 1-1
6. 1	調査時期等の根拠	6. 1-1
6. 2	生息基盤の改変量	6. 2-1
6. 2. 1	ミヤマシジミの生息状況	6. 2-1
6. 2. 2	オオムラサキの生息状況	6. 2-3
6. 2. 3	動物の主な生息基盤の変化の程度	6. 2-5

第 7 章	植物	7. 1-1
7. 1	調査時期等の根拠	7. 1-1
第 8 章	生態系	8. 1-1
8. 1	調査時期等の根拠	8. 1-1
第 9 章	景観、人と自然との触れ合いの活動の場	9. 1-1
9. 1	予測結果	9. 1-1
9. 1. 1	景観資源の状況	9. 1-1
9. 1. 2	主要な眺望景観の変化	9. 1-4
9. 1. 3	人と自然との触れ合いの活動の場における風景の変化	9. 1-29
第 10 章	文化財	10. 1-1
10. 1	埋蔵文化財の状況	10. 1-1
第 11 章	予測計算等に係る資料	11. 1-1
11. 1	騒音の予測に係る資料	11. 1-1
11. 1. 1	「ASJ RTN-Model 2013」による道路交通騒音 (L_{Aeq}) の予測計算例	11. 1-1
11. 1. 2	「ASJ CN-Model 2007」による建設機械騒音 (L_{A5}) の予測計算例	11. 1-3

※本評価書には、原則平成 30 年 7 月末までに公表されている資料を記載している。

本書に使用する地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 20 万分の 1 地製図及び 5 万分の 1 地形図を複製したものである。（承認番号 平 30 情複 第 455 号）
なお、地図を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。